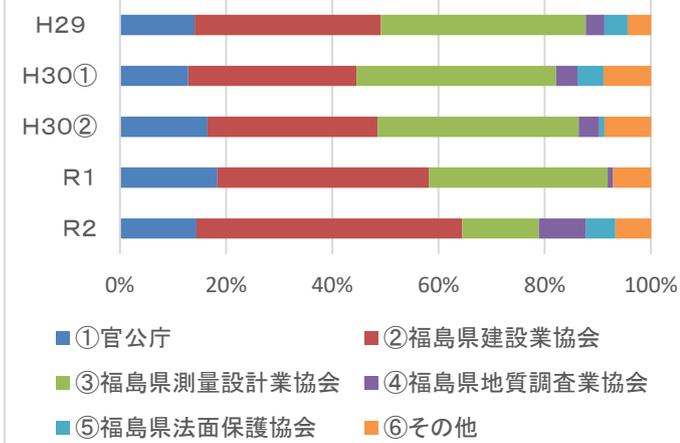
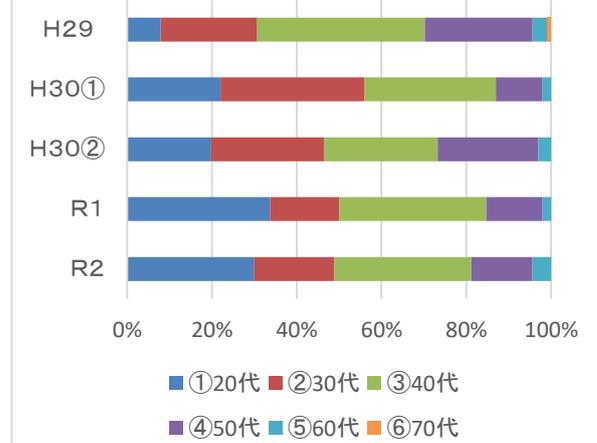


平成29・30年・令和元年度・2年度 ふくしまME(基礎)コース
受講者 アンケート比較

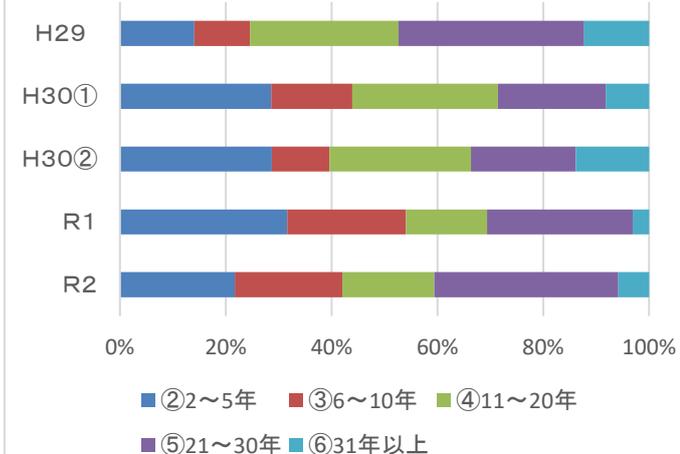
構成員別



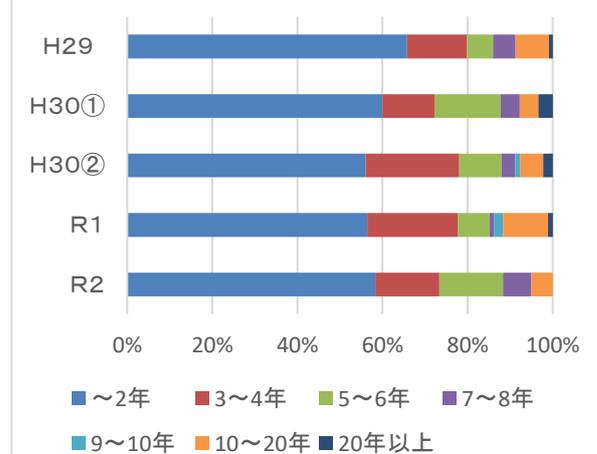
年代別



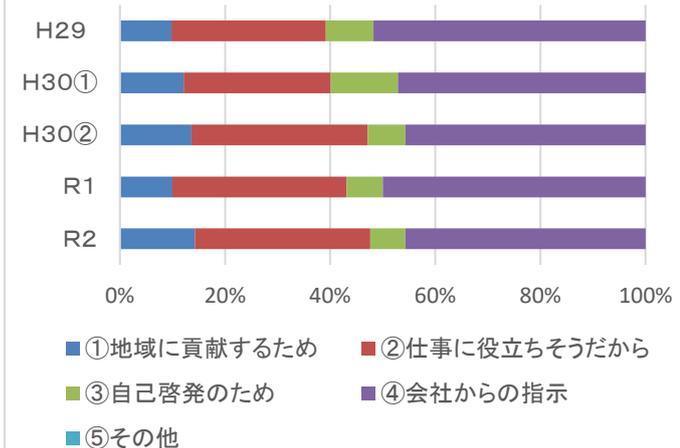
土木経験年数



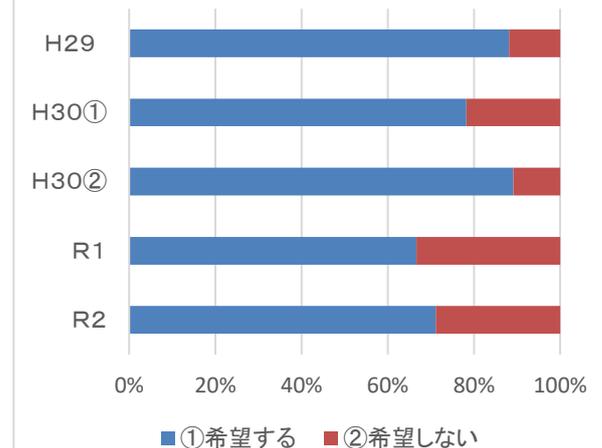
維持管理・点検の経験年数



受講動機



防災保全コース受講希望



応募者は5回の合計で683人、選抜により533人が受講し、うち認定試験合格者は465人となっている。

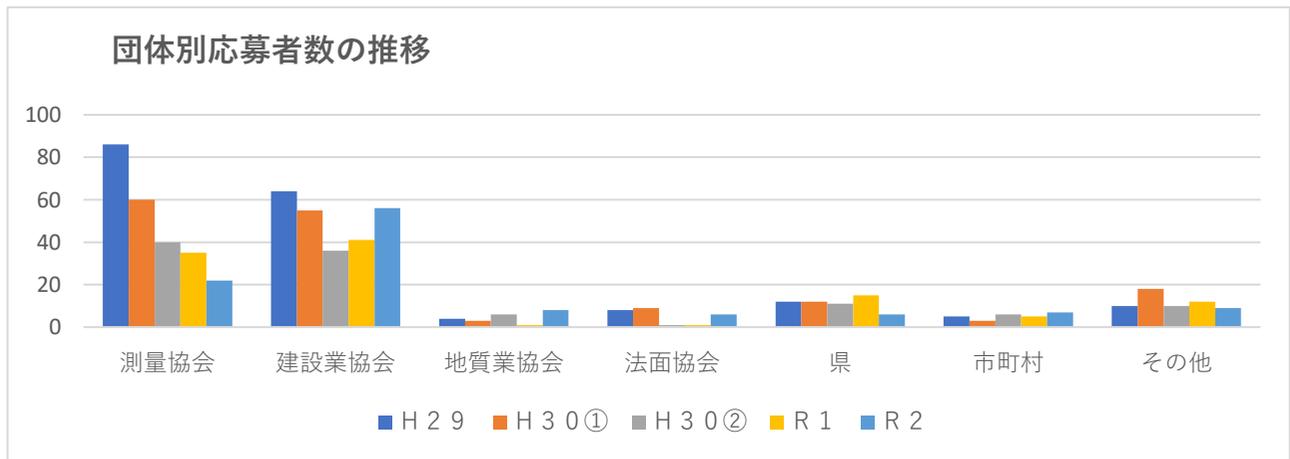
1. 応募者の状況

①年度別回数別応募者数の推移（人）

| 年度（回数） | H29（第1回） | H30①（第2回） | H30②（第3回） | R1（第4回） | R2（第5回） | 計 |
|--------|----------|-----------|-----------|---------|---------|-----|
| 応募者数 | 189 | 160 | 110 | 110 | 114 | 683 |

②団体別応募者数の推移（人）

応募者数については、減少傾向にあったが、県の総合評価での評価項目に加わったこともあってか、当初応募は150人弱となり、コロナ禍の中での延期後も微増している。今後ともインフラメンテナンス技術者の必要性に加え、本コース受講による知識の習得の必要性を訴えていくことが肝要である。



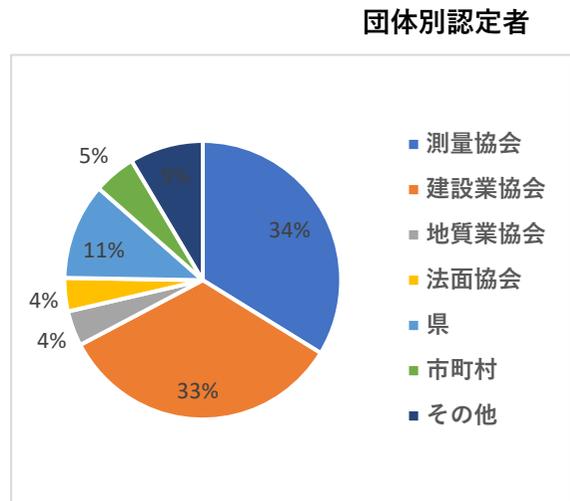
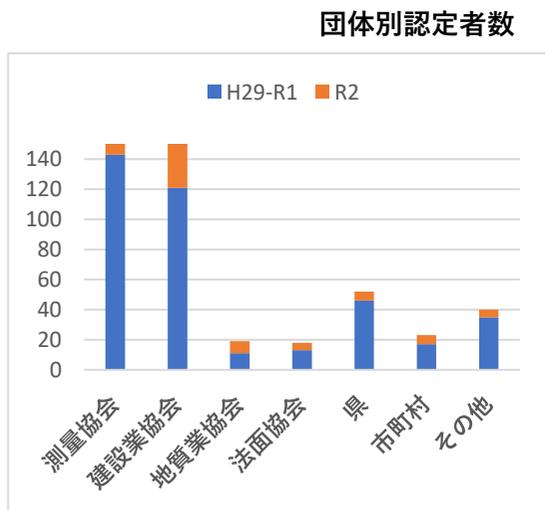
2. 認定者の状況

①年度別回数別認定者数の推移（人）

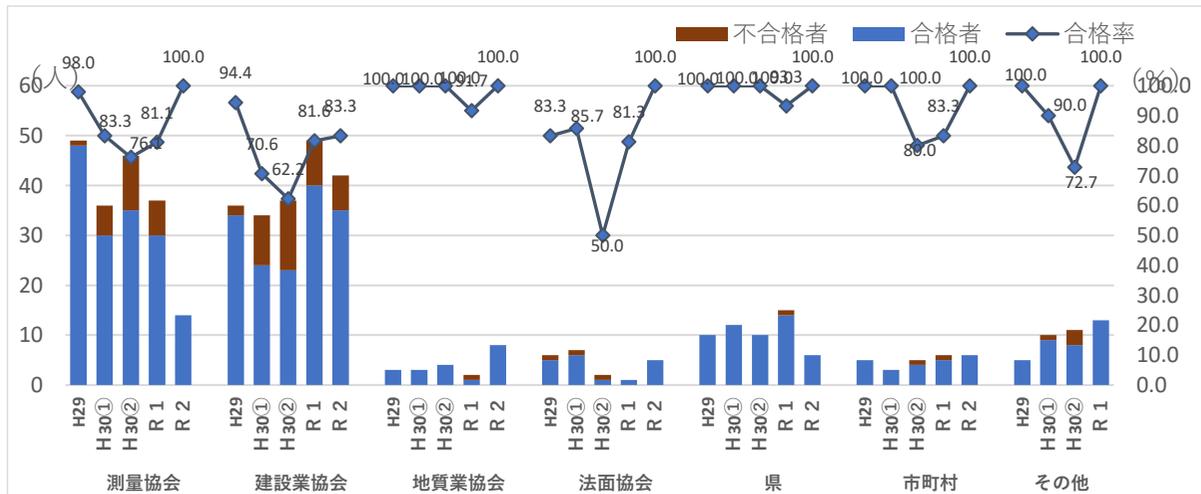
| 年度（回数） | H29（第1回） | H30①（第2回） | H30②（第3回） | R1（第4回） | R2（第5回） | 計 |
|--------|----------|-----------|-----------|---------|---------|-----|
| 人数 | 110 | 87 | 85 | 104 | 79 | 465 |

②団体別認定者数及び割合

認定者は測量設計協会が157人と最も多く、建設業協会が156人とほぼ同数、次いで県52人と続き、この3団体で8割を占めている。



3. 団体別年度別認定者数及び合格率の推移

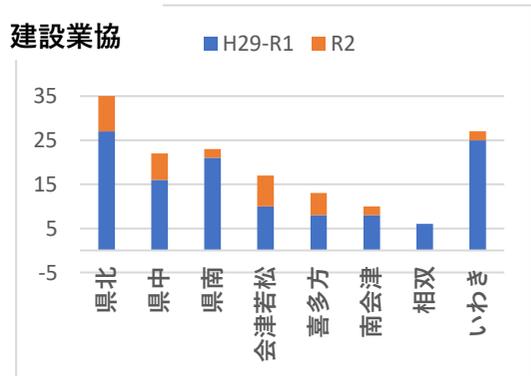
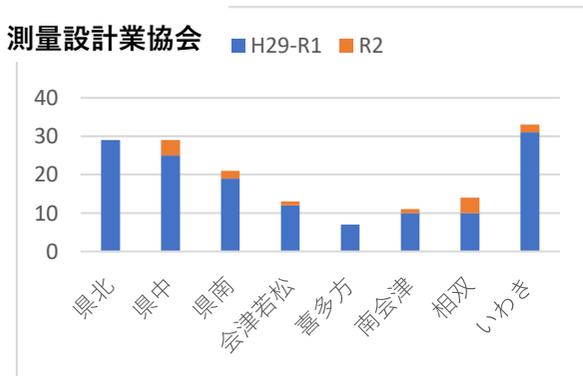


認定試験合格率の平均は、

- ・平成29年度 96.5%
- ・平成30年度第1回82.9%、第2回73.9%と、回を追うごとに減少していたが、昨年度は84.5%、今年度は91.9%と回復している。

団体別の回数別合格率は上図のとおりである。

4. 管内別認定者の状況 (在籍企業管内別)

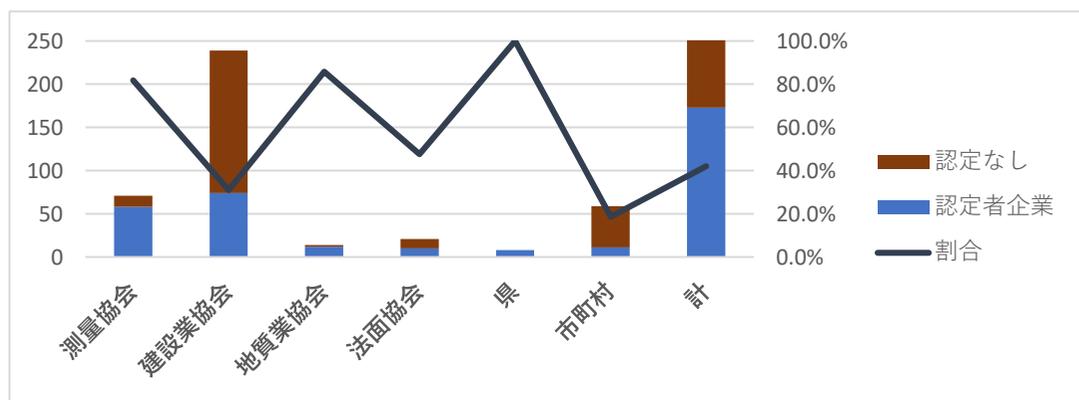


5. 認定者が在籍する企業状況

測量設計協会が58者、建設業協会が74者となっているが、会員数が大きく異なっているため、測量設計協会では会員の8割の企業に認定者が在籍しているのに対し、建設業協会は31%に留まっている。

団体別認定企業数

| 団体名 | 測量協会 | 建設業協会 | 地質業協会 | 法面協会 | 県 | 市町村 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 認定者企業 | 58 | 74 | 12 | 10 | 8 | 11 |
| 認定なし | 13 | 165 | 2 | 11 | 0 | 48 |
| 割合 | 81.7% | 31.0% | 85.7% | 47.6% | 100% | 18.6% |

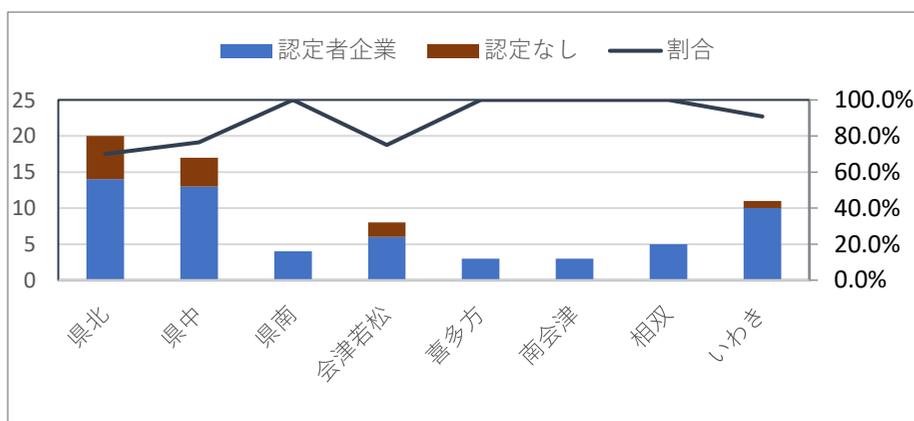


6. 団体ごとの管内別認定者在籍企業の状況

①測量設計業協会

県北、県中、若松管内は70%台、いわきは90%、その他管内は100%となっている。

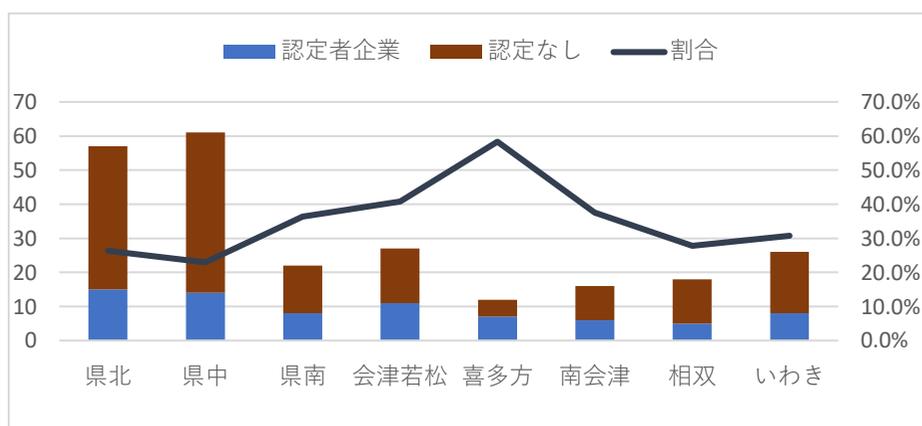
| 管内 | 県北 | 県中 | 県南 | 会津若松 | 喜多方 | 南会津 | 相双 | いわき | 計 |
|---------|-------|-------|------|-------|------|------|------|-------|-------|
| 認定者在籍企業 | 14 | 12 | 4 | 6 | 3 | 3 | 5 | 10 | 57 |
| 会員企業数 | 20 | 17 | 4 | 8 | 3 | 3 | 5 | 11 | 71 |
| 在籍企業割合 | 70.0% | 70.6% | 100% | 75.0% | 100% | 100% | 100% | 90.9% | 80.3% |



②建設業協会

県中管内が61者中14者で23%と最も低く、喜多方管内は在籍企業数は7者であるが、率にすると58%と最も高くなっている。

| 管内 | 県北 | 県中 | 県南 | 会津若松 | 喜多方 | 南会津 | 相双 | いわき | 計 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 認定者在籍企業 | 15 | 14 | 8 | 11 | 7 | 6 | 5 | 8 | 74 |
| 会員企業数 | 57 | 61 | 22 | 27 | 12 | 16 | 18 | 26 | 239 |
| 在籍企業割合 | 26.3% | 23.0% | 36.4% | 40.7% | 58.3% | 37.5% | 27.8% | 30.8% | 31.0% |



③地質調査業協会、法面保護協会

会員企業が不在の方部や認定者在籍企業がない方部もあり、母数が少ないことから、方部別比較はできない。

④その他

県の認定者は8方部全てに在籍している。一方、市町村の認定者は11市町に留まっている状況である。

令和2年度 第2回ME（保全）コース 受講者アンケート ～これまでの上級コースとの比較も含めて～

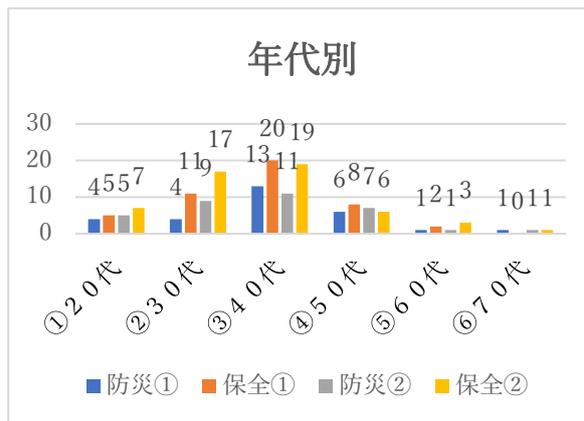
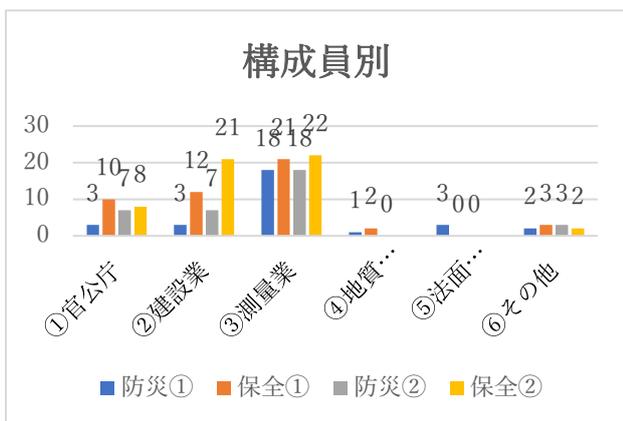
1 受講者の属性（構成員別・年代別・所有資格）

令和2年度第2回保全コースの受講者は54名。

<平成30年度は防災30名、保全48名、令和元年度は防災34名が受講>

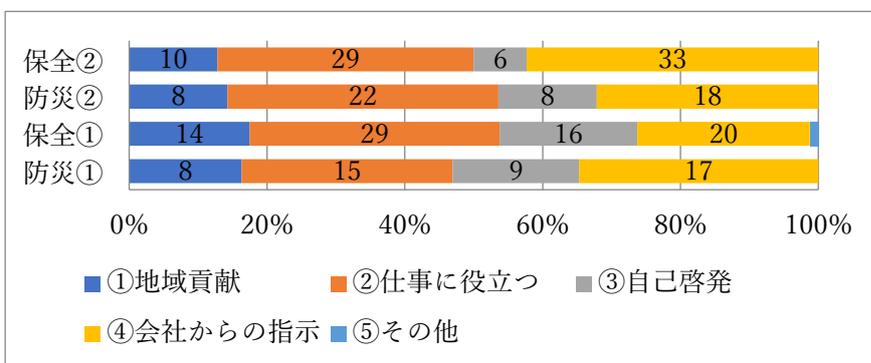
構成員別内訳は以下のとおりで、今までは測量設計業協会会員が最も多く受講しているが、今回は建設業協会会員が測量設計業協会会員とほぼ同数であった。

年代別割合では、今回も40代が最も多いが、30代も多くなっている。



2 受講動機

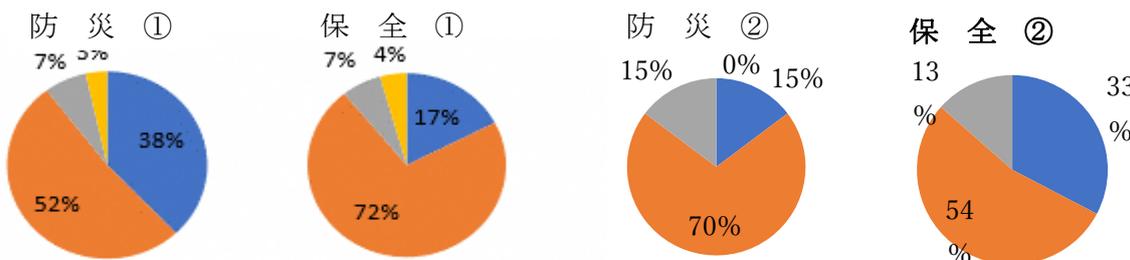
受講動機割合は「④の会社からの指示」と「②仕事に役立つから」が多く、若干の差はあるものの、いままでの傾向と同じものとなっている。



3 講義

(1) 講義内容全体について

今回も87%の方が「①大変良かった」「②概ね良かった」と評価している。

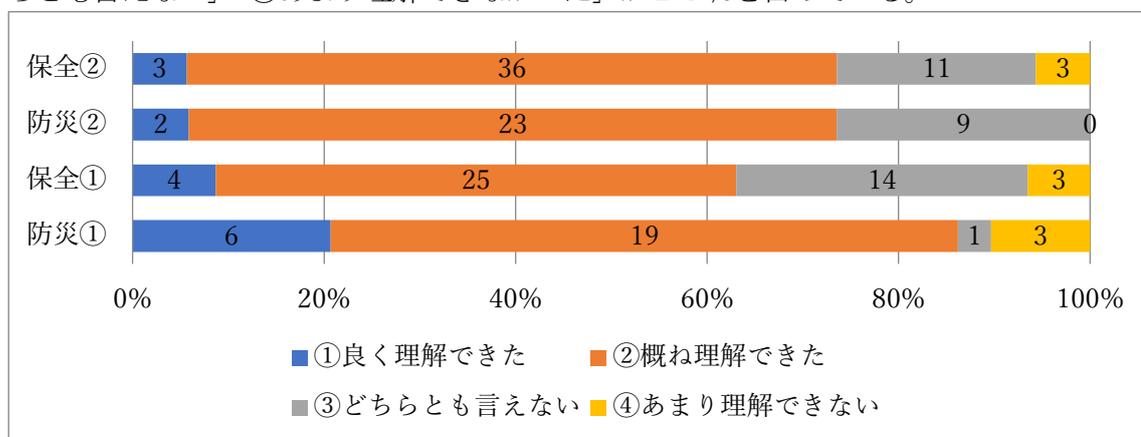


一方で「③どちらとも言えない」との回答が13%を占めており、「限られた時間内で多くの内容を聞かなければならなかった」「講義が早かった」という意見が挙げられている。



(2) 講義の理解度

7割強の方が「①良く理解できた」「②概ね理解できた」と評価している一方で、「③どちらとも言えない」「④あまり理解できなかった」が26%を占めている。



理由としては、「補修の経験が少なく、実体験で認識できなかった」「専門的に行っていない多くの内容を限られた時間に講義されたため理解が難しかった」などが挙げられている。

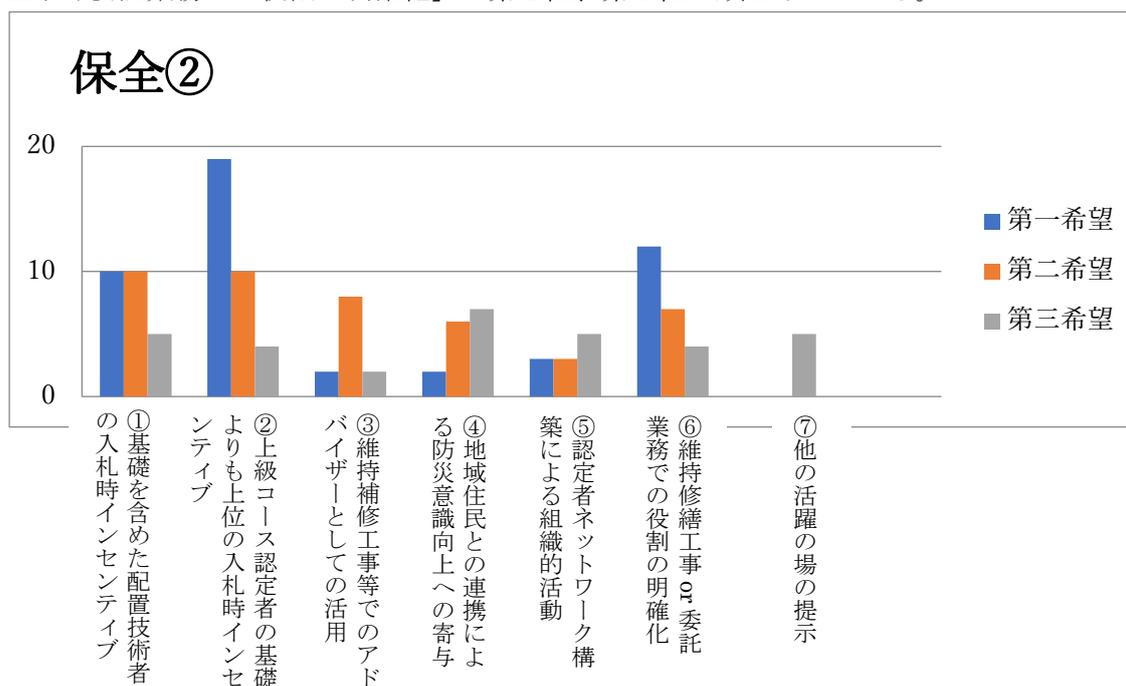
講義全体については「概ね良かった」としながらも、講義の理解度では「どちらとも言えない」「あまり理解できなかった」としている方が6名あった。

うち、「あまり理解できなかった」という方は3名。

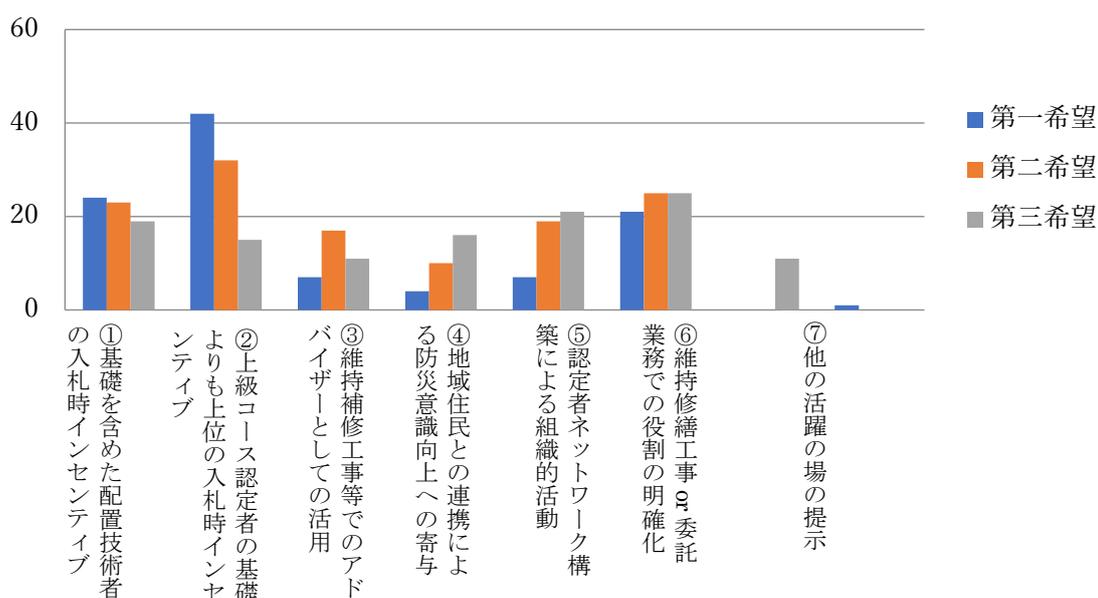
4 認定者に望むこと

本設問は、第一希望から第三希望までの複数で回答をいただいた。

今までは、「国の登録資格」が第一位であったが、登録資格となったことから、今回の回答からは除いており、結果、今まで2番目、3番目であった「入札時のインセンティブ」「維持修繕工事や委託業務での役割の明確化」が第1位、第2位の順となっている。



今までの累計（防災①+保全①+防災②+保全②）



第2回 ME(保全)コース受講者の主な意見

1 取り上げて欲しい講義内容

| 所属団体 | 年齢 | 講義内容 |
|------------|-----|-------------------------|
| 福島県建設業協会 | 40代 | 補修後の経過状況 |
| 福島県建設業協会 | 50代 | 道路法面の補修補強 |
| 福島県建設業協会 | 60代 | 実習での詳細調査 |
| 福島県測量設計業協会 | 40代 | 農業水利施設 |
| 福島県測量設計業協会 | 40代 | 砂防 |
| 福島県測量設計業協会 | 20代 | 補修補強 |
| 福島県測量設計業協会 | 20代 | 調査計画から調査、補修、補強計画立案までの実習 |

2 講義内容・理解度

| 回答属性 | 意見 |
|-----------|--|
| 良かった | 業務で悩んでいることに対し解決の糸口があった |
| | ワンランク上の技術知識が身についた |
| | コンクリート劣化原因の再認識 |
| | 仕事に役立つ知識を学べた |
| どちらとも言えない | 専門的に行っていない多くの内容を限られた時間に講義されたため、復習が難しかった |
| | 基礎コースよりもっと踏み込んだ内容だと良かった。基礎と内容が似通っている部分が多々あった |
| | 特に鋼構造の疲労について難しく、鋼橋について理解不足を感じた |
| | 劣化の原因、対策等については理解できたが、構造等の計算については理解できない |

3 現地実習

| 回答属性 | 意見 |
|-----------|--------------------------|
| 良かった | 現物を見たほうが理解が深まる |
| | 学ぶべきことが自分の中でイメージできた |
| | 良かったが、非破壊や破壊検査等も経験したかった |
| | 舗装についての実習もあり良かった |
| | 意見交換が講師や周囲の考えを聞いて良かった |
| どちらとも言えない | 補修補強の方法についてもう少し知りたかった |
| え | グループディスカッションが時間的に余裕がなかった |
| | 班ごとのスケジュールが分かりづらかった |

4 その他の意見・感想等

| 所属団体 | 年齢 | 講義内容 |
|------------|-----|---|
| 官公庁 | 30代 | 官公庁職員は知識経験ともに不足しており、施工業者やコンサルの方と同じレベルで対応できない者が多い。今回得た知識経験を受発注者間で共通の認識を持って安全安心な公共施設を提供していきたい。 この講習の受講者が増えていくと良いと思う。 |
| 官公庁 | 40代 | 1週目はスクリーンが遠かったが、2週目は後方にも増えて見やすかった |
| 福島県建設業協会 | 40代 | 年に数回インフラメンテナンスの現況や新技術について講習を行って欲しい |
| 福島県建設業協会 | 50代 | 点検・診断も重要だが、施工方法（補修・補強）について、もう少し事例を教えて欲しい。 |
| 福島県建設業協会 | 30代 | ME 育成の意義は理解するが、限られた時間で多くの内容を理解しなければならず、認定試験もあるため、通常の業務の忙しい中で再復習して取得するのはとても難しいことだと思う |
| 福島県建設業協会 | 60代 | 今回の講習は大変有意義であり、今後、社内の若い人にも経験を踏まえて教育できるようになりたいと思う |
| 福島県測量設計業協会 | 20代 | 現場実習と試験以外はオンラインでできたら良い |
| 福島県測量設計業協会 | 40代 | テキストの文字が小さくて見えないページが多々あった |
| 福島県測量設計業協会 | 70代 | 一つの現場での点検、診断、設計、工事と一連の流れでの講義があれば良い |